

4段階評価 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要す

本年度の重点目標（1：学力の向上 2：心の教育の充実 3：体力の向上 4：地域との連携）

評価項目	評価指標	学校の自己評価結果のコメント	総合評価	学校運営協議会委員評価コメント
学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「できる・わかる」授業づくりと児童主体の授業づくりへの改善 ○ 自分の言葉で根拠を基に説明できる授業づくりへの挑戦 ○ 個の伸びを実感できる指導 ○ 基本的な学習態度の共通実践 ○ 個に応じた指導の工夫と家庭学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習への興味・関心を持たせるため、導入の工夫を中心に行なった。また、学力調査結果を経年比較すると、学年間で定着に差が見られた。 ○ ペア学習やタブレットを活用した意見の共有等を行い、自分の考えを表現できるよう授業の工夫をした。引き続き、表現力の育成を行っていく必要がある。 ○ 授業で児童の感想や振り返りや、指導者の観察・評価をきめ細かく行い、授業改善に努めてきた。更に授業改善を行う必要がある。 	3.1 昨年度 (3. 3)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合評価が全項目下がっているのは、少し残念に思います。 ○ 一人一人を大切に個に応じた教育がなされている。 ○ タブレットを活用した学習やペア学習等の新しい取り組みは、大いに評価できると思います。新しい学習についていけない児童もいると思われる所以、振り返り等を行い、児童の習得状況を踏まえ進めて欲しいと思います。 ○ 授業でICTデジタル活用も大切であるが、アナログで行う児童の音読や漢字の練習等が疎かにならないか心配である。
心の教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権教育の視点に立った指導の充実 ○ 元気のよいあいさつの励行と基本的な生活習慣の定着 ○ 積極的な読書活動の推進 ○ 働くことの大切さや意義の理解と積極的なボランティア活動の推進 ○ 一人一人の教育的ニーズに応じた教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画的に人権教育の研修を行い、職員の人権感覚を磨き、指導に生かすようにした。 ○ あいさつや基本的な生活習慣は、保護者や教職員の評価は高くはない。引き続き、家庭や地域と連携して取り組む必要がある。 ○ 古い書籍の廃棄や電子図書閲覧、家読の充実（ノーメディアをプラス）等、読書環境を整えたが習慣化までには至っていない。 ○ 児童・保護者との教育相談や関係機関と連携した支援等を行い、一人一人のニーズに応じた対応を行った。 	3.0 昨年度 (3. 2)	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつや基本的な生活習慣は、根気強く継続していく必要があります。最近、「あいさつ運動」に活気がなくなっているように感じます。 ○ 大人も本を手に取ることが少なくなっていると思う。児童が借りて帰った本を親子で読んでみるのもよいのではないか。
体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力向上プランの具現化及び体育の授業における運動量の確保 ○ 食育・睡眠・立腰 正しい姿勢の指導の徹底 ○ 昼休みの外遊びの奨励（二極化傾向への対応） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育振興指導教員を招聘しハーダル走の指導を協同で行なうことをとおして、指導力向上を図る共に、児童の体力向上を図った。 ○ 地産地消の紹介、減塩給食、弁当の日の取組、出前講座「モーモー教室」等を行い、食育指導の充実に努めた。 	3.2 昨年度 (3. 3)	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゲーム等をすることで外遊びの機会が減り、体力低下につながっていると思う。学校でも引き続き外遊びの奨励や体力向上に向けた取り組みを継続して欲しい。
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と連携した教育活動の推進 ○ 幼保小連携の合同研修及び児童生徒の交流活動の推進 ○ 小中一貫教育の推進及び児童生徒の交流 ○ SDGs を意識した「えびの学」の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○ PTA、地域学校協働本部、まちづくり協議会等の関係機関と連携し、学校行事の充実を図ることができた。また、その様子を学校便りやホームページ等で積極的に発信した。 ○ 幼保小の合同研修会を定期的に実施し、「知・徳・体」の到達目標を共有し、共通実践することができた。 ○ 小中合同研修会を年3回実施し、共通実践の取組や中1ギャップの解消に向け、共通理解・意見交換を行うことができた。 	3.3 昨年度 (3. 5)	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ期待通りの評価がなされています。保護者の方には、学校側を評価するだけでなく自分達も外遊びをする機会が減っていることで体力低下につながっていると思う。学校でも引き続き外遊びの奨励や体力向上に向けた取り組みを継続して欲しい。

